

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅲ-1-2 発達段階に応じた教育の振興

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 保健体育課健康づくり推進室長 梶谷 朱美 電話番号 0852-22-5425

事務事業の名称	健康教育推進事業	
目的	(1) 対象	児童生徒
	(2) 意図	適切な保健管理及び保健指導を行う
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・養護教諭に専門的な知見を習得させ、指導力を養うために養護教諭研修を実施する。 ・健康教育全般及び学校保健に関する研修を深めることにより、資質の向上を図るために健康教育（学校保健）研修を実施する。 ・児童生徒の多様な健康課題に対応するため、専門医を派遣し指導・助言を受けながら、早期かつ適切な解決を図るための学校の体制づくりを推進する。 ・健康問題に影響を与えている様々な要因に対して、子どもたちが自らの力で対処できる力を身に付けさせていくために、モデル校での調査研究や専門家を派遣して講義や授業を行う。 ・学校保健、学校歯科保健、健康教育に関し優れた取組を行っている学校に対して功績をたたえ、健康教育の取組を充実させる。 	

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	学校保健委員会の開催率	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		100.00	100.00	100.00	100.00	
式・定義	学校保健委員会を開催した学校数／県内の学校保健委員会を設置している学校数		実績値	88.70	87.80	88.30	91.90		%
			達成率		87.80	88.30	91.90		%
指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位		
								目標値	0.00
式・定義			実績値	0.00	0.00	0.00		%	
			達成率		0.00	0.00		%	

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	10,846	9,293
うち一般財源(千円)	10,313	8,543

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・全校種における学校保健委員会設置率は昨年度に比べ、現状維持または高くなっているが（小学校94.8%、中学校84.5%、高等学校90.2%、特別支援学校100%）、開催率は小学校及び特別支援学校で昨年度より低くなった（小学校92.1%、中学校91.5%、高等学校91.9%、特別支援学校91.7%）。
 ・健康相談アドバイザー事業における専門医派遣は、30件の上限を設定して実施したところ、21件の活用があった。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・学校保健委員会を企画、運営する保健主事に、学校における健康課題を解決するために学校保健委員会を活用することの理解を図ったことが、学校保健委員会の開催率を高めることにつながった。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

・学校保健委員会の設置率については、年々高くなってきているが、特別支援学校以外では目標値に達していない。
 ・校種間比較では中学校が特に低い。
 ・開催率は全校種で90%以上にはなったものの、前年度より低くなっている校種もある。

②困っている状況が発生している「原因」

・学校保健委員会の推進役である保健主事の役割が明確に位置づけられていなかったり、養護教諭が保健主事を兼ねている場合には養護教諭一人に任せられ、組織の運営等において負担が大きかったりすることなどが考えられる。

③原因を解消するための「課題」

・機能的な学校保健委員会にするために、健康教育研修において、保健主事の役割を明確にし、資質向上を図る取組を検討する。
 ・学校保健委員会に専門医を招いて指導が受けられるような体制づくりを継続するとともに、有機的な連携のあり方について研修を行う。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・地域の学校保健主事に参加するなど、様々な機会をつくって保健主事の資質向上を図る。
 ・専門医を学校保健委員会に招くための働きかけの方法を具体的に伝える。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）